

ILC プロジェクトから初の学生ベンチャー 「株式会社 ニューフォレスター」の誕生

1. ベンチャー誕生の経緯について

(1) ILC プロジェクトについて

筑波大学では、企業との共同研究や筑波大学のシーズをもとにしたベンチャー創出などを支援するため、平成 16 年度から「ILC プロジェクト」(産学リエゾン共同研究センター (ILC) が運営) をスタートさせた。同年度では、27 件の応募があった中から 8 件のプロジェクトが採択されたが、その中の一つとして、本学第三学群工学基礎学類 4 年に在学中の星野厚氏のプロジェクト(「インターネット放送・コミュニケーションシステムの研究」)の採択が認められた。

(2) 星野プロジェクトについて

星野プロジェクトは、従来インターネットライブ放送では本格的な編集ソフトウェアが存在せず、カメラ映像をそのまま流すか高価な放送専用機材を使用するほかなかったものを、低価格でしかも高機能なリアルタイム放送編集ソフトウェアを研究開発し、インターネット放送に関する新しいビジネスが生まれる下地を築くとともに、インターネット放送システムを中核としたベンチャーを起業することを目標としたものであった。

研究期間は平成 16 年度・17 年度の 2 年間で、この間、筑波大学では、ILC 施設(38 m²)の無償使用と年間平均 300 万円程度の研究開発費の支援を行っている。

また、星野プロジェクトは、経済産業省の IPA 未踏ソフトウェア創造事業にも、インターネットライブ放送ソフトウェアの開発で平成 14 年度・15 年度に採択されている。さらに、平成 15 年度には、茨城県主催の「ヤングベンチャービジネスコンペいばらき」優秀賞を獲得した。

このたび、星野プロジェクトでは、起業の中核となるインターネットライブ放送のソフトウェアの開発を完成させ、また、新ベンチャー経営の体制が準備できたことから、当初の目標どおり、ベンチャーを設立することとなった。

2. 会社の概要について

ア. 社名：株式会社 ニューフォレスター

イ. 設立：2005年2月16日

ウ. 資本金：960万円

エ. 本社所在地：茨城県つくば市春日4-24-18

オ. 役員

代表取締役：星野 厚

取締役：森澤 邦友

取締役：新妻 浩光

監査役：星野かね子

カ. 連絡先

電話：029-853-5835

e-mail：hoshino@ilc.tsukuba.ac.jp

キ. 主要事業目的

- ・コンピュータソフトウェアの研究開発
- ・インターネットによる情報サービス業及び通信販売業
- ・インターネットのウェブサイト作成と管理
- ・インターネットテレビジョン放送事業及び有線ラジオ放送事業映像やコンテンツの制作、配信業務

【会社ロゴ】

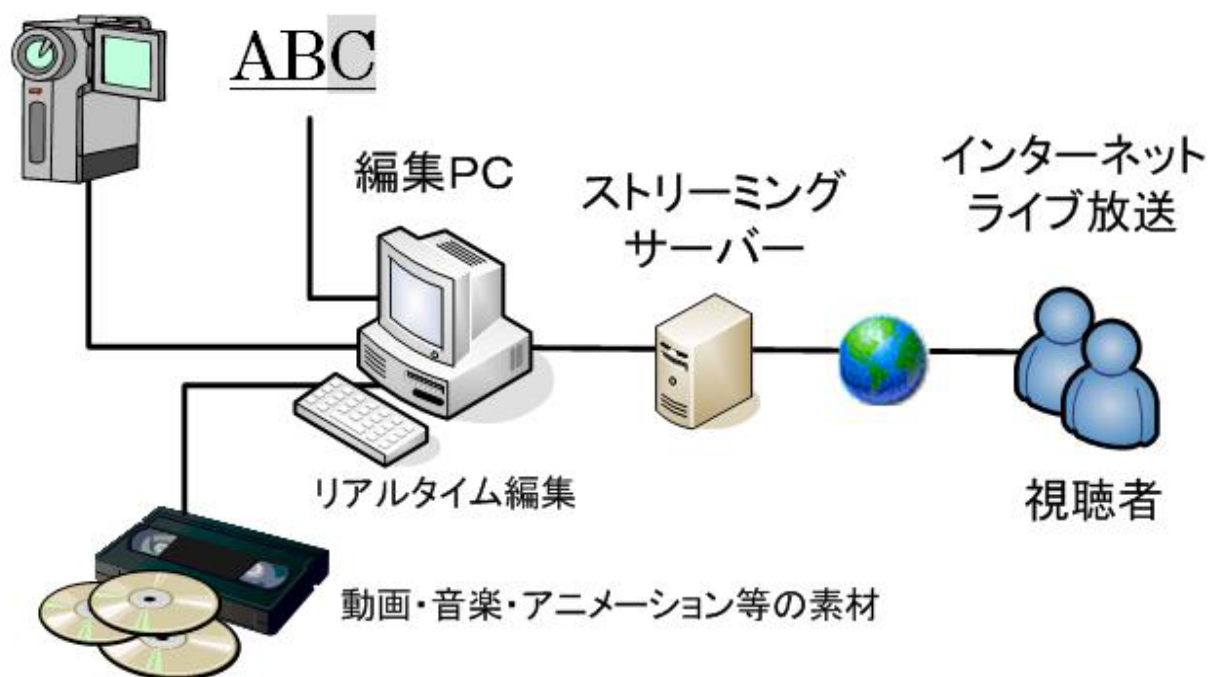
The logo for New Forestal features the word "New" in a red, stylized font and "Forestal" in a black, handwritten-style font.

3. ビジネスプランについて

(1) ビジネスプラン

設立会社では、低価格・高機能で、操作が容易なインターネット放送システム・サービスの販売を行う。同社の提供するシステムでは、インターネット上でテレビ放送（ストリーミング）が可能であり、放送しながら同時に編集が行えるなど、他にはない機能を備えている。このシステムはイベント中継、防犯、教育、遠隔会議などへの需要を見込んでいる。

ライブ映像 テロップ



従来の地上放送では億単位でかかっていた初期投資が数十万円からの投資で済み、今で放送できなかった人々にも放送が可能になった。

(2) 技術的な特徴

本インターネット放送システムでは、独自開発のライブ編集ソフトウェアにより、動画の編集、エンコード、配信までを1台のPCで行うことが可能である。従来の放送機材やスタジオ設備を導入した場合には相当額の導入費を必要とするが、同システムを導入した場合、設備に対する初期投資が不要である分、わずかな費用で放送が可能となる。

また、ソフトウェアをカスタマイズすることにより、防犯、教育など様々な用途に応用することができる。例えば、タッチパネル操作に対応することによって、パソコンを使えない人でも簡単に操作できるようにすることも可能である。

(3) ビジネス展開

現在、地方公共団体などに同システムの導入を進めている。今後も地方議会の放送システムやイベント会場などに販路を積極的に展開していく予定である。

また地元企業と連携しながら、同システムをサービスの一環として組み込む形での普及を行う。

初年度は1200万円、3年目で1億円の売り上げを目指している。

地方自治体に採用予定の議会中継ソフト



(参考：別紙資料 インターネットライブ放送の説明)

【本件についての問合せ先】

1. 担当課

筑波大学研究事業部産学連携課 浅野

電話：029-853-2912 FAX：029-853-6565

e-mail: sasano@sec.tsukuba.ac.jp

2. ILCプロジェクトについて

筑波大学産学リエゾン共同研究センターリエゾン推進室 菊本 新谷

電話&FAX：029-853-6064

e-mail: hkikumt@ilc.tsukuba.ac.jp

3. 星野プロジェクトの内容及び(株)ニューフォレスターについて

筑波大学理工学研究科1年生 星野厚(加藤研究室)

電話&FAX：029-853-5835(産学リエゾン共同研究センター307号室)

e-mail: hoshino@ilc.tsukuba.ac.jp

特許2003-284061号


インターネットライブ放送 その場編集システム



だれでも本格的なライブ放送ができる！

ソフト概要

TV編集スタジオを一台のPCで。



- 撮影** 複数カメラを用いた本格的な撮影
- 編集** タイムラインを使わない直感的な操作でリアルタイムにエフェクトをかけながら編集
- 放送** 編集映像をリアルタイムエンコードしインターネットライブ放送開始

機能と特徴

放送が楽しくなる機能を満載



放送画面を次々と切り替えてディレクターになろう!

複数のカメラデバイスに対応しているので、業務用のビデオミキサーのように2カメラ同時映像をフェードさせることができます。またピクチャインピクチャ、4画面表示などのカメラ効果を使うことができます。

演出をサポートする様々な機能

その場の雰囲気に合わせてプリクラ風フレームと合成したり、テロップを打ち込んだり、BGMや効果音を鳴らせたりと編集機能が放送を盛り上げます。



アニメーション合成機能

FLASHアニメーションとリアルタイム合成



豊富なアニメーション素材の資産を活用

Webアニメーションの標準とよべるほど普及しているSWFファイルに対応。カメラ映像とアニメーションを合成しながらライブ放送することができます。

アクションスクリプトにも対応!

FLASHアニメーションの動きを制御できるスクリプト言語「ActionScript」に対応。例えば、スポーツ中継のスコアボードをActionScriptで作成すれば、試合状況に応じてスコアをアニメーションできます。



FLASHはMacromedia社のソフトウェアです。

中継機能

別会場のライブ放送を生中継



他放送局とのコラボレーションが可能に

衛星中継のような同時多元中継がインターネット放送でも実現できます。他インターネット放送局の映像を受信しながらの編集、放送ができます。

サンタハウスにも生中継



キャラクター機能、プレゼンテーション機能

動画・文章・感情...すべてをリアルタイムで伝える。

らくがき機能



放送画面にマウスでらくがきができます。

ブラウザの機能を最大限に活かし、ライブストリーミングと同期したリッチコンテンツを提供します。

シンクロブラウザ機能

The screenshot shows a browser window with two tabs. The left tab is labeled '視聴者' (Viewer) and the right tab is labeled '放送者' (Broadcaster). Both tabs show a video player with a person's face. Red circles highlight specific elements: a character icon in the viewer's browser and a character icon in the broadcaster's browser. Red arrows point from these circles to a text box at the bottom.

視聴者

放送者

放送側のブラウザのポインタが視聴者のブラウザと同期

放送映像に合わせてFLASHキャラクターをコントロールできます。

需要に合わせたシステムが構築可能

放送用途に合わせてスタジオ構成を変えるように、
柔軟なオリジナルシステムを構築できます。

簡単操作の
議会中継システムを
作りたい

某県議会採用中継
編集システム



ソリューション

